

## 繊維学会 第184回被服科学研究委員会開催のお知らせ（公開）

委員長 平井郁子

第184回被服科学研究会は、早稲田大学の川田宏之先生をお招きして「炭素繊維－炭素繊維を超える材料を開発できるのかー」のテーマで講演会を行いますので、ご参加くださいますようご案内申し上げます。会員以外の方にも積極的に参加の呼びかけをお願いいたします。（参加費無）

### 記

日 時：2016年10月21日（金）16：20～17：50

場 所：大妻女子大学 千代田校舎 F棟6階 644教室  
〒102-8357 東京都千代田区三番町12

交 通：JR中央線・都営新宿線・東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅下車  
徒歩約10分、東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅下車 徒歩約5分、  
東京メトロ東西線「九段下」駅下車 徒歩約12分

地 図：<https://www.otsuma.ac.jp/access/chiyoda>

講 演：「炭素繊維－炭素繊維を超える材料を開発できるのかー」

早稲田大学理工学術院 基幹理工学部機械科学・航空学科 川田宏之教授

内 容：炭素繊維は航空機・宇宙分野において不可欠の材料で、構造物の軽量・高強度化の旗手となっている。炭素繊維を樹脂と複合化することによって、繊維強化プラスチック（CFRP）が多種多様なプロセスで成形されている。CFRPは軽量構造物の主要材料として、多方面での利用技術が期待されており、興味は尽きない。炭素繊維の基礎と、CFRPの利用状況を概観し、先進複合材料の魅力について紹介する。一方で、カーボンナノチューブやグラフェンの研究が推進されていて、ポスト炭素繊維として期待されている。原子番号6番の脅威の物性についても解説する。

交流会：委員会終了後、参加者の交流会（18：00～20：00）を予定しています。

〔会場〕未定 大学近隣

〔会費〕4,000円（予定）

お申込み：交流会参加の有無も含めて、10月10日までに下記へお申し込みください。

申込・連絡先：大妻女子大学 平井郁子

〒102-8357 東京都千代田区三番町12

Tel&Fax：03-5275-6022

e-mail：[i-hirai@otsuma.ac.jp](mailto:i-hirai@otsuma.ac.jp)